

# JC NEWS

11月号

Vol.805

- ・長崎JCを深堀る！
  - ・第73年度All Jayceesシン・大懇親会
  - ・10月会務室担当例会
  - ・フォローアップセミナー
- 「RE:ADY FOR TOMORROW  
～ゼロから始める防災意識改革～」

一般社団法人長崎青年会議所

今後のJCニュースに活かして  
参ります！！アンケートのご回  
答を宜しくお願い致します。



一般の方は  
➡こちら



特別会員は  
➡こちら



正会員は  
➡こちら

# 目次

理事長挨拶 ..... 3 P

第73年度  
All Jayceesシン・大懇親会 ..... 5 P

特集

長崎JCを深堀る! ..... 6 P

2025年度  
じゃがいも倶楽部 10月例会 .....13 P

10月会務室担当例会  
長崎くんちから学ぶ地域リーダー  
のためのシビックプライド .....15 P

フォローアップセミナー  
「Re:ADY FOR TOMORROW  
～ゼロから始める防災意識改革～」 .....16 P

2026年度  
神戸JC・長崎JC定例会議・懇親会 .....17 P



# 理事長挨拶

受け継いだ志を、

100年へ

澄んだ空気が広がり、海と山がいつそう鮮やかに映える季節となりました。長崎のまちも各地で催しが続き、ひとの往来に温かな賑わいを感じられますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、去る10月31日、10年ぶりのAll Jayceesが開催されました。まずは、野口委員長率いる交流委員会を始め、正会員の皆様が長い時間をかけて準備していただいたことに感謝申し上げます。当日は、特別会員135名、正会員86名もの皆様にご参加いただき、盛大に実施

することができました。本事業を通じて、改めて長崎青年会議所という団体の歩んできた歴史の重みを深く感じる機会となりました。会場には設立当初からの歴年度スローガンが一面に掲示され、また多くの特別会員の皆様との交流を通じて、当時の想いや、その時代ごとの色を鮮やかに感じることができた一日となりました。まさに、その一つひとつの積み重ねの上に、現在の長崎青年会議所があるのだと実感するとともに、これまで歴史を築いてこられた特別会員の皆様に対し、改めて深い敬意と感謝の念を抱いております。



現在、正会員数は10年前、20年前と比べれば減少しておりますが、私達の志が揺らぐことはありません。長崎を更に盛り上げ、80年、90年、そして100年へと歩みを進めていくためにも、先輩方から受け継いだ志や想いをしっかりと読み解き、形にしていくことが私達の使命となります。そして、40歳までという限られた時間の中で、どのような人生を描き、社会との関わりの中でどのようになら築いていくのか。自身の時間や能力を投じながら、そこにどのような意味を見出し、どのように変化する、また周囲に変化をも

たらすのか。その醍醐味こそがJC活動の本質であり、魅力でもあります。ひとの内側から湧き上がる衝動や行動力の源は、どの時代においても私達自身にしか生み出すことができません。ひととひとが直接会い感情を交わし、心を動かし合う。そのような人間的な営みを大切にしていき、やるべきことを淡々と積み重ね、成功も失敗も繰り返していく経験をこれからも重ねていきたいと思えます。人生をおもしろくできるかは自分次第です。本年度も残りわずか、最後まで走り切り、次年度へバトンを繋いで参りましょう。

# 第73年度All Jayceesシン・大懇親会



10月31日(金)ホテルニュー長崎にて「第73年度 All Jaycees シン・大懇親会」を開催し、特別会員135名、正会員86名が参加しました。会場では、特別会員の皆様より長崎JCの歴史や当時の運動の背景を伺い、正会員にとって今後の活動を見つめ直す貴重な機会となりました。世代を超えた交流を通じ、新たな出会いや繋がりも生まれ、組織の絆が一層深まりました。終盤には恒例の「若い我等」を全員で肩を組み熱唱し、四元永生先輩の中締めのご挨拶をもって盛会裡に幕を閉じました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



**↓11、12Pに写真を掲載しています！是非ご覧下さい↓**

# 長崎JCを<sup>ふか</sup>深<sup>ぼ</sup>掘る！

— All Jaycees シン・大懇親会 舞台裏 —



10年ぶりに帰ってきた「All Jaycees」 世代を超えて紡がれる絆、語り継がれる想い。

かつて一緒に汗を流した仲間達が再び集まり、長崎JCの“原点”と“未来”を感じる夜になりました。今回の特別企画では、初開催から受け継がれてきたAll Jayceesに込められた想い、そしてその舞台裏について、交流委員長の野口将司君に話を聞きました。

**深堀**：なぜAllJayceesを開催しようと思ったんですか？

**野口**：この10年、特別会員に特化した事業って一度もなかったんです。まちづくり、ひとづくり、拡大活動...色々あるけど、特別会員の皆様にもっと協力や依頼をできるようになれば、もっと長崎JCを大きくできるんじゃないかと思って...より特別会員の皆様と相互関係を強くしたいと思ったんです。そんな素直な思いからこの事業を立ち上げました。「顔を合わせたことがないひとには、お願いもしづらい。だったら、まず会って話せる『場』を作ろう」。「全員で特別会員の方をお呼びしたい」って、そんな気持ちで動き出したのが始まりです。



## 【All Jayceesの始まり】

All Jayceesの源流は、1988年度(第36年度)理事長・殿村育生先輩の時代に遡ります。当時は団塊の世代の先輩方が多く卒業を迎え、世代交代が大きく進んでいた時期。40周年を目前に、「現役と特別会員の繋がりを深めたい」という思いから、両者を繋ぐ新たな組織を構想されました。翌1989年度(第37年度)に形となり、「現役とOB会員の信頼のネットワークを広げ、絆を育む場に」との願いを込めて、All Jayceesが誕生します。当時は、「卒業したら関係が薄れる」「理事経験者でないと参加しづらい」といった声もありましたが、先輩方は各種会合やOB同窓会へ足を運び、参画の輪を広げていきました。こうして「All Jaycees互礼会」が開催されました。



**深堀**：準備段階で大変だったことは何ですか？

**野口**：特別会員の皆様に出席を依頼する上で、一番大変だったのはキャラバンの情報収集。「いつ、どんな会が開催されて、誰がいらっしゃるのかを調べるのが本当に大変でした。お父様がOBの正会員、前事務局員の永田さん、岩口さんに手伝っていただき、少しずつ訪問先を見つけていきました。本当にありがとうございました。多いときには週に3～4回、全部で26回も特別会員の集まりに足を運びました。



**深堀**：印象に残ってるキャラバンはありますか？



**野口**：どれも印象的でしたが、第63年度小西貴之先輩が理事長を務められた際の理事役員メンバー集まりである“524会”にお邪魔したとき、最初は挨拶だけで帰るつもりだったんです。一度お店を出たあとに戻ったら、「また来たのか！」と笑顔で迎えて下さいました。また、1985年度に長崎で九州地区大会を開催したときの委員会の集まりも、とても印象に残ってます。

「会場には当時の旗が掲げられていて、皆様がスーツ姿でビシッと集まってたんです。その際に15分ほど当時のお話を林敏幸先輩(昭和61年後卒業)にさせていただきました。40年経っても当時の記憶が鮮明に残っており、仲間との絆をお話しいただきました。卒業してもJCの絆って強いんだなって、正直、圧倒されました。私も素敵な交流委員会にできるよう頑張ります。

**深堀**：AllJayceesで一番難しかったところは何ですか？

**野口**：議案を構築するときが一番悩んだのは、どうしたら世代を超えて自然に交流できるか、ということでした。余興を入れるのか、話のきっかけを作るのか…。形式的じゃなく「来て良かった」「話せて良かった」って思える空気を作りたかったんです。そんな中で生まれたのが、『JC MUSEUM(ミュージアム)』のアイデア。昔のJCニュースや写真を展示して、長崎JCの歴史を感じられる空間を作りたいと思いました。正会員が特別会員を案内して、当時の話を聞くきっかけになればいいな。特別会員と正会員との新たな出会いや繋がりが、“JCに入って良かった”という実感に繋がって、それが次の拡大やまちづくりへ発展していけば最高ですよ。そして、当日に「親子2ショット」を撮ろうと思いついて渉外広報委員会の皆様に撮影協力をいただきました。皆様、喜んでもらえて良かったです！



**深堀**：当日の様子や雰囲気はいかがでしたか？

**野口**：当日は、歴代理事長の写真やスローガンがスクリーンに映し、会場全体を“長崎JCの歴史”で溢れさせたかったです。写真でしか見たことのなかった歴代理事長の方々が、実際に優しく声をかけて下さって。やっぱりオーラが違うなと感じました。ただ、主催者(担当委員会)として必死で余裕はなかったです…進行がうまくいくか、そればかり考えて。準備の段階で多くの方と繋がれたので、私の中ではほぼ目的達成していました。(笑)



**深堀**：特別会員の反応はどうでしたか？

**野口**：皆様からの評判はとても良かったです。10年ぶりという特別感もあって、「会えて良かったばい」「またやってほしい」「2年に1回はせんばやろ！」という声を本当にたくさんいただきました。中には「もっと話したい先輩がいた」「時間が足りなくてテーブルまわれんやった」という声もあって、特別会員も正会員のどちらにも喜んでいただけたので、開催して良かったと思います。私の希望は毎年開催ですね。(笑)

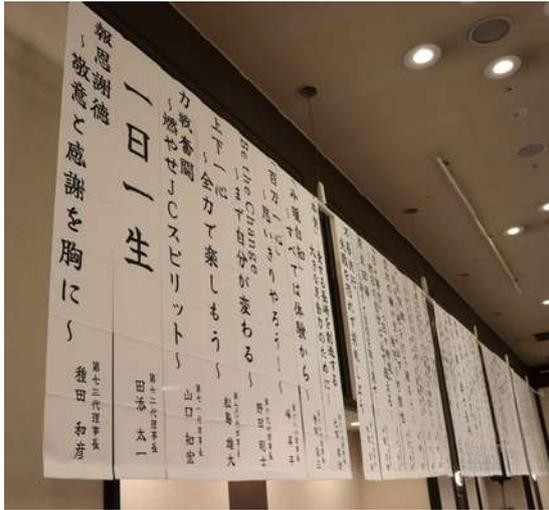


**深堀**：野口委員長の考える「交流」とは何でしょうか？

**野口**：今はZOOMでもLINEでもすぐに繋がれる時代ですけど、やっぱり「直接会って話す」って凄く大事だと思います。時間をかけて、汗をかいて足を運んで、顔を合わせてお願いします。一見非効率だけど、その先にしか生まれない信頼関係があると思います。それは私達現役会員同士の「交流」にも繋がる部分かと思いました。動員の仕方であったり、ひととひととの絆、信頼関係に繋がったり、それが、「交流」の本質であり、ALL JAYCEESの成功に繋がったと思います。







# 2025年度 じゃがいも倶楽部 10月例会



10月31日(金)、長崎国際ゴルフ倶楽部にて「All Jaycees開催記念10月例会」を開催しました。当日は、天候が悪い中、特別会員43名・正会員32名、計75名の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。始球式は西村勇二先輩に行っていたいただき、ラウンドをとおして特別会員の皆様と親睦を深める、素晴らしい時間となりました。



優勝  
第70年度卒業 末永 敬一郎先輩



## 12月例会のご案内

### 【12月例会】

日時：12月3日(水) 集合 9時30分 / スタート 9時48分

会場：喜々津カントリー倶楽部

〒859-0403 諫早市多良見町市布1656-1 TEL：0957-43-0223

プレー費：8,380円 (キャディーなし・カート付・昼食付)

会費：3,000円

### 【納会】

日時：12月3日(水) 19:00 開会

会場：オルテンシア ナガサキ

〒850-0841 長崎市銅座町14-4 TEL：095-818-8787

会費：6,000円

クリスマスプレゼント  
交換会あります！！



お問い合わせ先 北島 秀基 TEL：080-1749-9245

# 【10月会務室担当例会】

長崎くんちから学ぶ地域リーダーのための  
シビックプライド



10月2日(木)、ホテルニュー長崎にて10月会務室担当例会が開催されました。「長崎くんち」に携わられた第65代理事長・吉田 宗由先輩、第66代理事長・光富 英治先輩をお迎えし、「伝統文化の継承」と「青年会議所」の双方の視点から、まちづくり運動について語っていただきました。



今回の例会「長崎くんちから学ぶシビックプライド」では、地域文化の継承とJCの理念の繋がりについて学びました。踊町や地域の皆さん、行政、企業などが支え合いながら世代を超えて受け継ぐくんちの姿は、私達が目指すべき「まちとの関わり方」です。この文化を守ることでシビックプライドが醸成され、結果として若者の人口流出を食い止める一助になるのではないでしょうか。JCの理念に改めて共感し、主体的に課題解決に取り組む。そしてJC運動を自らの力で起こしていく。その意識を持つことが私達長崎JCの役割だと改めて感じました。



# 第73年度新入会員フォローアップ事業 「RE:ADY FOR TOMORROW～ゼロから始める防災意識改革～」



11月15日(土)、新入会員  
フォローアップセミナー・懇親会が開催されま  
した。  
詳細は12月号で掲載しま  
す！お楽しみに！  
新入会員の皆様、お疲れ様でした！



# 2026年度神戸JC・長崎JC定例会議・懇親会



※2025年度の写真

2026年度神戸JC・長崎JC定例会議・懇親会が開催されます。

## 懇親会

【日時】 2025年11月29日(土)18時30分～20時30分

(集合時間 18時00分)

【会場】 「THE GLOBAL VIEW 長崎」3階ホール  
〒850-0045長崎市宝町2-26 TEL:095-821-1111

## 報告昼食会

【日時】 2025年11月30日(日)11時00分～11時45分

(集合時間 10時30分)

【会場】 「長崎県勤労福祉会館」2階講堂  
〒850-0031長崎市桜町9-6 TEL:095-821-1456

皆様の参加  
お待ちしております。

神戸JCと長崎JCは、62年にわたる深い友好関係を築いており、阪神淡路大震災や長崎大水害の際には互いに助け合い、強い絆を育んできました。この定例会議は、両LOMが年に一度、互いの地を行き来して開催してきた伝統ある交流の場です。



第74年渉外委員長予定者  
鳥巢 峻輝君

# 長崎JCとは



※クリックで紹介動画が見られます

長崎JCは1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

我々、長崎JCは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年達が次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にする

ために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じて共に汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。

## 報恩謝徳

JUNIOR CHAMBER  
INTERNATIONAL  
NAGASAKI 2025

敬意と感謝を胸に

フォロー、登録をお願いします。

INSTAGRAM



FACEBOOK



X



YOUTUBE



長崎JCホームページ



会員名簿



新着情報

過去の  
JCニュース